

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 26 年 3 月 25 日作成

事務事業名	『H24拡充』観光施設維持管理事業			所属部局 農林商工部	単位番号 6129		
	□ 実施計画事業						
	所属課室 観光商工課	課長名 柄原伸幸					
基本政策	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目 会計	名称 款	項	目		
政策	09 地域資源を活かした観光の振興	事業区分 事業	細目 目	細目 細目	細目 細目		
施策	16 観光基盤の整備		01 一般	07 01	03 060 02		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	法令根拠	なし				
事業の概要	事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・夏山シーズン中に南アルプスを訪れる観光客のため、市営駐車場の管理及び仮設トイレの設置等、山岳観光施設の維持管理を行う業務 ・今後についても同様に継続していく。	事業費の主な内訳 ( 25年度 決算見込 )					

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

①活動	各観光施設の維持管理及び修繕
25年度活動実績	各観光施設の維持管理及び修繕
26年度活動予定	各観光施設の維持管理及び修繕
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	南アルプスを訪れる登山客
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	登山客の利便性の向上と安全確保
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	もう一度南アルプスを訪れる

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:仮設トイレの設置台数		台
イ:		
ウ:		
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:市営駐車場利用者数		人
イ:		
ウ:		
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:市営駐車場・仮設トイレ利用者からの苦情件数		件
イ:遭難件数		件
ウ:		
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:南アルプスをもう一度訪れたいと考えた登山客の割合		%
イ:		

年間トータルコスト	事業費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
国庫支出金	千円								
県支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円		6,455	6,251	6,251	6,251	6,251	6,251	
一般財源	千円		5,766	2,467	277	2,753	2,753	2,753	
事業費計 (A)	千円		5,766	8,922	6,528	9,004	9,004	9,004	0
正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間		240	240	240	240	240	240	0
人件費計 (B)	千円		1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	0
(A)+(B)	千円		6,858	10,014	7,620	10,096	10,096	10,096	0
活動指標	ア:台		15.0	17.0					
	イ:								
	ウ:								
対象指標	ア:人		30,000.0	50,000.0	56,000.0				
	イ:								
	ウ:								
成果指標	ア:件		3.0	0.0	0.0				
	イ:件		7.0	0.0	5.0				
	ウ:								
上位成果指標	ア:%								
	イ:								

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	未把握
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	登山者の利便性向上と自然環境保護を目的として開始された。市営駐車場の整備は平成16年度からの交通規制をきっかけに開始された。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	南アルプス林道の交通規制の開始。登山ブームの到来。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】   <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市営駐車場の整備及び仮設トイレの設置を行い、南アルプスへ向かう登山者の利便性向上と、環境保護への取り組みを行った。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	『H24拡充』観光施設維持管理事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 登山者の安全と利便性の向上を図り、環境保護を目的としていることから結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 上位目的は市の掲げる山岳観光施策に直結していることから妥当である。  事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 山岳観光の玄関口(芦安駐車場)や登山道等の徹底管理を行なうことで、イメージアップによる誘客効果が図れる。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 安心、安全を提供することで観光地としてのイメージアップから観光客増加が期待できる。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 北岳山荘の公衆トイレ運営事業は、県と協議会を設置して運営していることから、統合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 登山者からの苦情、環境に与える影響が大である。  <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 登山者からの苦情、環境に与える影響が大である。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 誘客増加のため徹底管理が必要。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の人数(担当1名)で対応していることから、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公共的な要素が強い事業であり、特定の個人団体を対象としていない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設維持にあたっては、必ず発生する経費であるため、今後も継続して事業を行っていく。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	
(2)改革改善案について	コスト水準
	削減
	維持
	増加
	向上
	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	維持
	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>
	低下
	<input type="checkbox"/>
	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度
	成果優先度評価結果 (4)
	コスト削減優先度評価結果 (9)